

NEWS LETTER

14時30分解禁

令和2年3月 全国百貨店売上高概況

令和2年4月24日

I. 概 況

1. 売上高総額	3,403億円余
2. 前年同月比	-33.4% (店舗数調整後/6か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	74社 205店 (令和2年2月対比-1社1店)
4. 総店舗面積	5,204,826㎡ (前年同月比:-3.9%)
5. 総従業員数	62,114人 (前年同月比:-6.4%)
6. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	8-10月 2.0%、9-11月 -1.1%、10-12月 -8.8%、 11-1月 -4.7%、12-2月 -6.3%、1-3月 -16.8%

[参考] 平成31年3月の売上高増減率は0.1% (店舗数調整後)

【特 徴】

3月の売上高は、新型コロナウイルス感染拡大の影響から、33.4%減(6か月連続)と過去最大のマイナス幅となった。商圈顧客の外出自粛に加え、感染防止策として各社が実施した営業時間短縮や臨時休業、さらには物産展や文化催事など大型イベントの中止や縮小から入店客数は大幅に減少し、売上も大きく落ち込んだ。

また、インバウンドは、中国をはじめとした海外からの渡航者の入国制限により、購買客数が93.4%減(2か月連続)と激減したことで、売上高は85.7%減(47.5億円/2か月連続/シェア1.4%)となった。国内市場については、一部外商売上やネット販売などに動きが見られたものの、前月より22ポイントダウンの29.8%減(6か月連続/シェア98.6%)となった。

地区別では、全地区で二桁減となり、インバウンド減の影響を大きく受けた大都市(10都市/36.2%減)の減少幅は、地方(10都市以外の地区/26.3%減)よりも9.9ポイント下回った。

商品別では、主要5品目全てでマイナスし、特に、国内外顧客の減少やタッチアップ(直接お客様の肌に施すメイクやスキンケア等)中止から前年より4割以上減少した化粧品や、卒入学式などセレモニー中止による衣料品や身のまわり品などオケーションニーズのアイテムが苦戦した。食料品についても、人気の食品催事の中止が響いた。一方、巣ごもり消費から、WEB受注や、生鮮食品などを含む食料品の宅配は比較的好調だった。また、感染防止意識から婦人手袋なども動いた。

【要 因】

(1) 天 候 : 気象庁発表「3月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)

◇北・東・西日本では、南から暖かい空気が流れ込みやすかったため、気温がかなり高かった。また、降水量は北日本太平洋側でかなり多く、日照時間は北・西日本と東日本日本海側で多かった。

(2) 営業日数増減 30.5日(前年同月比 -0.4日)

(3) 土・日・祝日の合計 10日(" -1日/土曜1日減)

(4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数113店舗)

①増加した:1店、②変化なし:3店、③減少した:109店

(5) 3月歳時記(ホワイトデー、卒業・入学、新生活)の売上(同上/有効回答数82店舗)

①増加した:2店、②変化なし:5店、③減少した:75店

全国百貨店 売上高速報 2020年3月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後（ ）が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	340,359,656	100.0	-33.4 (-33.9)
10都市	232,377,435	68.3	-36.2 (-36.3)
札幌	7,579,766	2.2	-46.1
仙台	5,243,882	1.5	-24.6
東京	92,911,831	27.3	-34.6 (-34.7)
横浜	21,624,799	6.4	-30.3
名古屋	21,340,734	6.3	-36.7
京都	13,787,951	4.1	-35.5
大阪	43,020,942	12.6	-42.2
神戸	8,164,338	2.4	-33.8 (-33.3)
広島	6,878,742	2.0	-32.9
福岡	11,824,450	3.5	-35.1
10都市以外の地区	107,982,221	31.7	-26.3 (-28.1)
北海道	849,236	0.2	-33.8
東北	5,162,747	1.5	-23.3 (-34.5)
関東	47,607,238	14.0	-26.5 (-29.6)
中部	8,666,014	2.5	-23.2 (-24.3)
近畿	15,489,392	4.6	-22.4 (-21.2)
中国	7,753,430	2.3	-29.8
四国	5,838,866	1.7	-30.2
九州	16,615,298	4.9	-27.7

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	340,359,656	100.0	-33.4 (-33.9)
紳士服・洋品	19,538,766	5.7	-39.7 (-40.1)
婦人服・洋品	55,719,023	16.4	-44.2 (-44.7)
子供服・洋品	15,298,540	4.5	-24.9 (-26.0)
その他衣料品	6,991,560	2.1	-27.7 (-28.9)
衣 料 品	97,547,889	28.7	-39.9 (-40.5)
身のまわり品	41,683,427	12.2	-38.0 (-38.6)
化粧品	32,035,847	9.4	-41.2 (-41.4)
美術・宝飾・貴金属	22,285,803	6.5	-27.6 (-27.9)
その他雑貨	12,824,337	3.8	-26.6 (-29.7)
雑 貨	67,145,987	19.7	-34.6 (-35.3)
家 具	4,270,376	1.3	-24.4 (-25.6)
家 電	911,107	0.3	-16.7 (-16.8)
その他家庭用品	9,478,003	2.8	-30.7 (-31.3)
家 庭 用 品	14,659,486	4.3	-28.2 (-28.9)
生 鮮 食 品	18,445,999	5.4	-13.2 (-14.8)
菓 子	33,531,613	9.9	-25.9 (-26.2)
惣 菜	20,120,029	5.9	-26.5 (-26.8)
その他食料品	24,970,291	7.3	-25.7 (-27.1)
食 料 品	97,067,932	28.5	-23.9 (-24.7)
食 堂 喫 茶	6,602,354	1.9	-47.7 (-49.0)
サ ー ビ ス	3,669,058	1.1	-30.6 (-32.1)
そ の 他	11,983,523	3.5	-2.9 (5.1)
商 品 券	8,077,988	2.4	-22.5 (-22.3)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

II. 地区別の動き

- | | |
|------------------|----------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | - 36.2% (店舗数調整後／6か月連続マイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | - 26.3% (店舗数調整後／6か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	- 36.2	- 25.9	6か月連続マイナス
札幌	- 46.1	- 1.3	2か月連続マイナス
仙台	- 24.6	- 0.3	2か月ぶりマイナス
東京	- 34.6	- 9.7	6か月連続マイナス
横浜	- 30.3	- 1.9	6か月連続マイナス
名古屋	- 36.7	- 2.4	6か月連続マイナス
京都	- 35.5	- 1.5	6か月連続マイナス
大阪	- 42.2	- 6.2	6か月連続マイナス
神戸	- 33.8	- 0.6	6か月連続マイナス
広島	- 32.9	- 0.7	2か月連続マイナス
福岡	- 35.1	- 1.3	6か月連続マイナス
10都市以外の地区	- 26.3	- 7.5	6か月連続マイナス
北海道	- 33.8	- 0.1	2か月連続マイナス*
東北	- 23.3	- 0.3	2か月連続マイナス*
関東	- 26.5	- 3.4	6か月連続マイナス
中部	- 23.2	- 0.5	6か月連続マイナス
近畿	- 22.4	- 0.8	6か月連続マイナス
中国	- 29.8	- 0.7	6か月連続マイナス*
四国	- 30.2	- 0.5	6か月連続マイナス
九州	- 27.7	- 1.3	6か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、6か月連続で全品目がマイナスとなった。また、その他の品目も全品目がマイナスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-33.4	—	6か月連続マイナス
紳士服・洋品	-39.7	-2.5	6か月連続マイナス
婦人服・洋品	-44.2	-8.7	6か月連続マイナス
子供服・洋品	-24.9	-1.0	6か月連続マイナス
その他衣料品	-27.7	-0.5	6か月連続マイナス
衣料品	-39.9	-12.7	6か月連続マイナス
身のまわり品	-38.0	-5.0	6か月連続マイナス
化粧品	-41.2	-4.4	2か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	-27.6	-1.7	2か月連続マイナス*
その他雑貨	-26.6	-0.9	6か月連続マイナス*
雑貨	-34.6	-7.0	6か月連続マイナス
家具	-24.4	-0.3	6か月連続マイナス
家電	-16.7	-0.0	2か月連続マイナス
その他家庭用品	-30.7	-0.8	6か月連続マイナス
家庭用品	-28.2	-1.1	6か月連続マイナス
生鮮食品	-13.2	-0.5	17か月連続マイナス*
菓子	-25.9	-2.3	2か月連続マイナス*
惣菜	-26.5	-1.4	6か月連続マイナス*
その他食料品	-25.7	-1.7	6か月連続マイナス*
食料品	-23.9	-6.0	6か月連続マイナス
食堂喫茶	-47.7	-1.2	6か月連続マイナス
サービス	-30.6	-0.3	3か月ぶりマイナス
その他	-2.9	-0.1	5か月ぶりマイナス
商品券	-22.5	-0.5	109か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

令和2年3月 東京地区百貨店売上高概況

令和2年4月24日

I. 概 況

1. 売上高総額	929億円余
2. 前年同月比	-34.6% (店舗数調整後/6か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-36.5%(88.0%) : 非店頭-15.5%(12.0%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	12社 25店 (令和2年2月対比±0店)
5. 総店舗面積	839,051㎡ (前年同月比: 0.1%)
6. 総従業員数	16,678人 (前年同月比: -2.6%)
7. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	8-10月 1.5%、9-11月 -1.7%、10-12月 -8.1%、 11-1月 -3.5%、12-2月 -5.6%、1-3月 -17.2%

[参考] 平成31年3月の売上高増減率は0.6%

【特 徴】

- (1) 3月の東京地区は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、都内各店で時短営業・臨時休業の実施や大型イベントを中止したほか、地域行政から外出自粛要請が行われたことなどから、入店客数(39.7%減/6か月連続)が大幅に減少した。
- (2) また、入国制限によるインバウンド需要の消失も大きく影響した結果、売上高は34.6%減(6か月連続)と、全国(33.4%減)同様、過去に例のない厳しい商況となった。
- (3) 食料品(22.5%減)は、集客の核となる物産催事が中止になったことや、花見自粛で弁当やパーティ惣菜が苦戦し落ち込んだ半面、宅配需要やオンラインショッピングが伸長したほか、家飲みの増加で和洋酒が好調だった。
- (4) 衣料品(40.3%減)は、卒業・入学のオケージョン需要の低下、更には外出自粛やテレワーク推進による都内通勤者の減少で、スーツ、コート、ジャケット等のアウターが苦戦した。身のまわり品(42.4%減)もパンプスやハンドバッグ等春物全般の動きが鈍かった。
- (5) 4月中間段階の商況は、4月7日の「緊急事態宣言」を受け、首都圏の多くの店が8日以降、臨時休業や食品フロアのみ営業をしている影響で、77.9%減(4/16)と一段と厳しい状況で推移している。

【要 因】

- (1) 営業日数増減 30.2日 (前年同月比 -0.8日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数16店舗)
①増加した: 0店、②変化なし: 0店、③減少した: 16店
- (3) 3月歳時記(ホワイトデー、卒業・入学、新生活)の売上(同上/有効回答数13店舗)
①増加した: 1店、②変化なし: 1店、③減少した: 11店

東京地区百貨店 売上高速報 2020年3月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	92,911,831	100.0	-34.6 (-34.7)
紳士服・洋品	6,714,420	7.2	-40.8 (-40.8)
婦人服・洋品	13,523,821	14.6	-45.6 (-45.6)
子供服・洋品	4,674,948	5.0	-21.2 (-21.2)
その他衣料品	1,446,381	1.6	-29.0 (-29.0)
衣 料 品	26,359,570	28.4	-40.3 (-40.3)
身のまわり品	11,834,440	12.7	-42.4 (-42.4)
化粧品	9,961,306	10.7	-40.6 (-40.6)
美術・宝飾・貴金属	6,280,847	6.8	-30.3 (-30.5)
その他雑貨	3,642,853	3.9	-36.3 (-36.3)
雑 貨	19,885,006	21.4	-36.9 (-36.9)
家 具	1,429,838	1.5	-7.8 (-7.8)
家 電	601,047	0.6	-13.9 (-13.9)
その他家庭用品	2,395,892	2.6	-33.9 (-33.9)
家 庭 用 品	4,426,777	4.8	-24.6 (-24.6)
生 鮮 食 品	3,616,527	3.9	-8.6 (-8.6)
菓 子	7,866,677	8.5	-30.5 (-30.7)
惣 菜	4,662,534	5.0	-27.6 (-27.6)
その他食料品	7,730,342	8.3	-14.9 (-14.9)
食 料 品	23,876,080	25.7	-22.5 (-22.6)
食 堂 喫 茶	1,378,500	1.5	-53.2 (-53.3)
サ ー ビ ス	1,598,185	1.7	-33.6 (-33.6)
そ の 他	3,553,273	3.8	-5.0 (-11.8)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

商 品 券	1,961,797 千円	-20.7 (-20.7)
従 業 員 数	16,678 人	-2.6
店 舗 面 積	839,051 m ²	0.1

営 業 日 数	30.2 日	前 年	31.0 日
---------	--------	-----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、2か月連続で全品目がマイナスとなった。また、全国同様、その他の品目も全品目がマイナスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	－34.6	－	6か月連続マイナス
紳士服・洋品	－40.8	－3.3	6か月連続マイナス
婦人服・洋品	－45.6	－8.0	6か月連続マイナス
子供服・洋品	－21.2	－0.9	6か月連続マイナス
その他衣料品	－29.0	－0.4	6か月連続マイナス
衣料品	－40.3	－12.5	6か月連続マイナス
身のまわり品	－42.4	－6.1	2か月連続マイナス
化粧品	－40.6	－4.8	6か月連続マイナス＊
美術・宝飾・貴金属	－30.3	－1.9	2か月連続マイナス＊
その他雑貨	－36.3	－1.5	6か月連続マイナス＊
雑貨	－36.9	－8.2	6か月連続マイナス
家具	－7.8	－0.1	2か月ぶりマイナス
家電	－13.9	－0.1	2か月連続マイナス
その他家庭用品	－33.9	－0.9	6か月連続マイナス
家庭用品	－24.6	－1.0	4か月連続マイナス
生鮮食品	－8.6	－0.2	18か月連続マイナス＊
菓子	－30.5	－2.4	2か月連続マイナス＊
惣菜	－27.6	－1.3	2か月連続マイナス＊
その他食料品	－14.9	－1.0	2か月ぶりマイナス＊
食料品	－22.5	－4.9	2か月連続マイナス
食堂喫茶	－53.2	－1.1	6か月連続マイナス
サービス	－33.6	－0.6	6か月連続マイナス
その他	－5.0	－0.1	5か月ぶりマイナス
商品券	－20.7	－0.4	18か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・橘・長柴 まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>